

情報可視化論 最終課題

氏名：高槻大貴

学籍番号：181X211X

■アプリケーション概要

ロボスターの等値面を変更する機能と、任意のボリュームの断面を表示する機能を実装したアプリケーションを作成した。図1は実際のアプリケーションの画面である。

図1の一番上に操作するGUIがある。

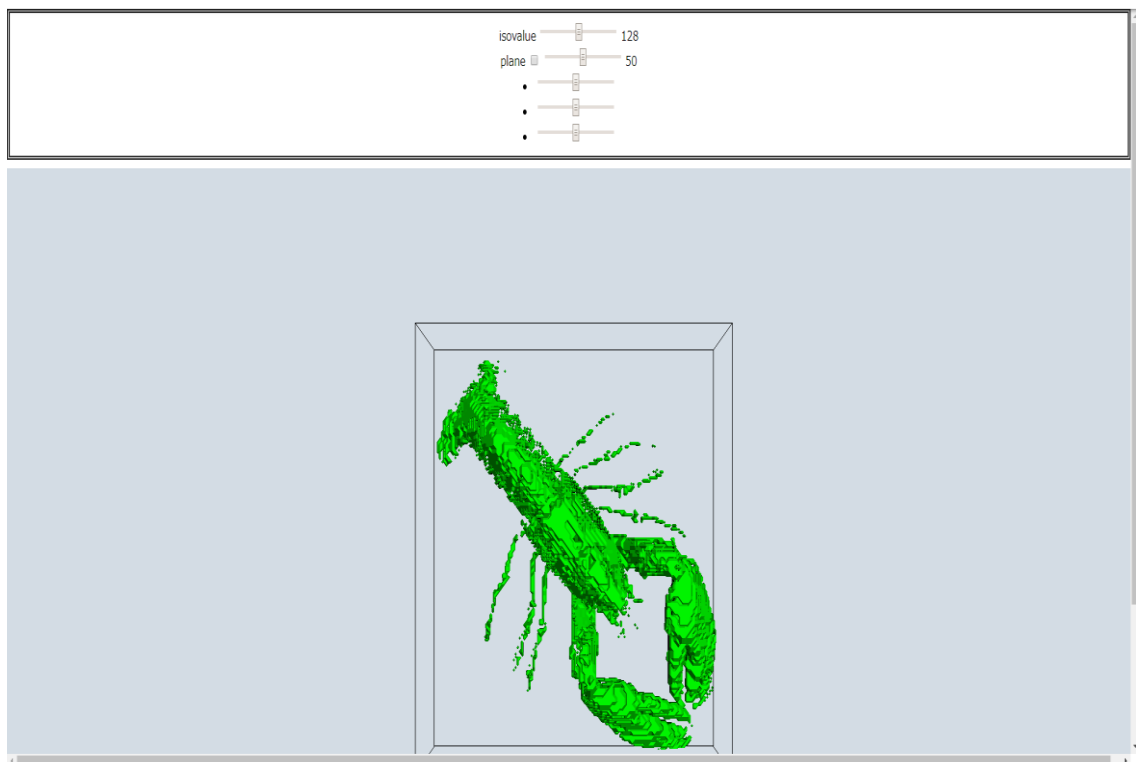


図1:アプリケーション画面

■等値面を変更する機能

図2のように、一番上の「isovalue」のスライダーバーを動かすことで0~254までの数値を入力して等値面の表示を変更することができる。

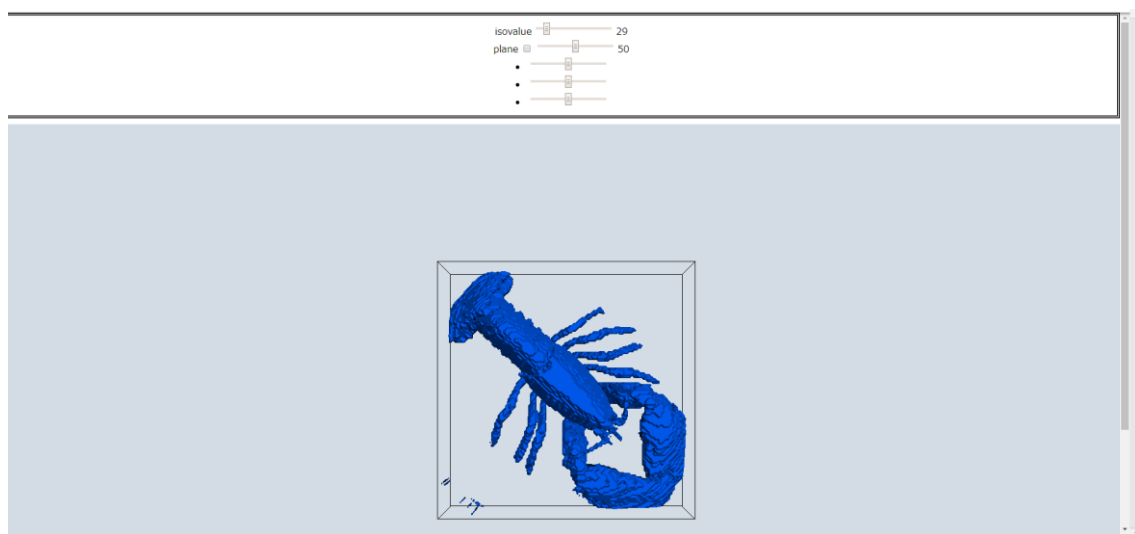


図 2 : isovalue=29

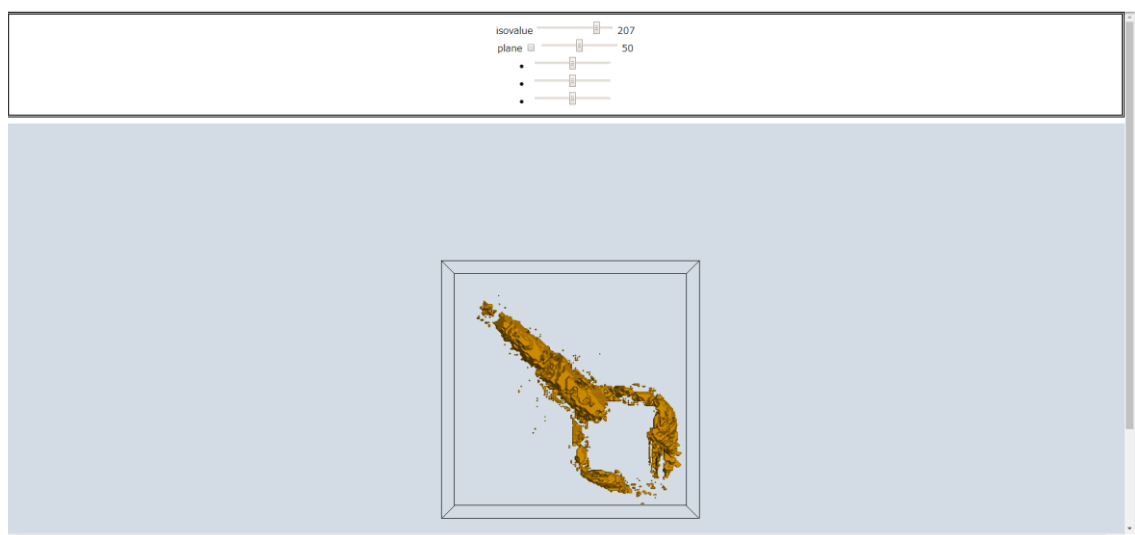


図 3 : isovalue=207

■ボリュームの任意の断面を表示する機能

GUI の上から 2 番目の plane のチェックボックスにチェック入れることで、ボリュームの断面を表示できる。また、その横のスライダーを動かすことで、断面の角度を操作することができる。(図 4)

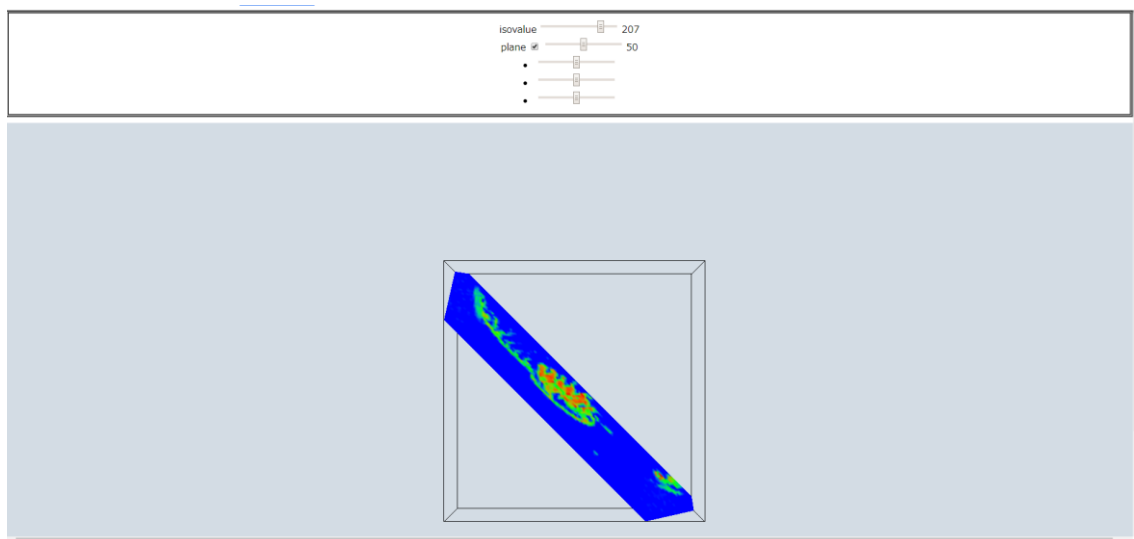


図 4 : plane = 50

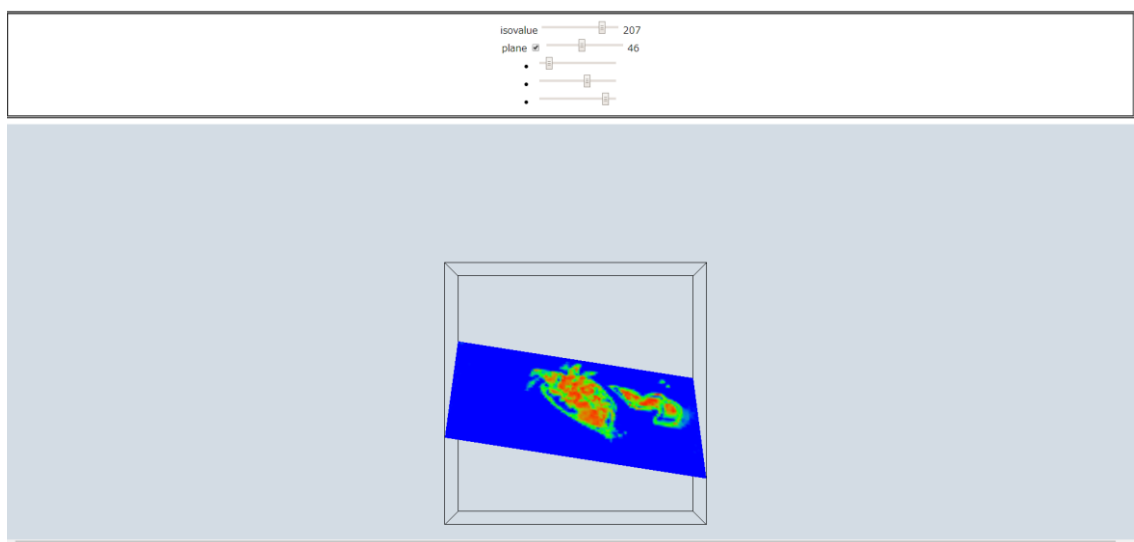


図 5 : plane = 46